

今月のおすすめ本

『くろねこのほんやさん』



くろねこのほんやさんへ、ようこそ！どのこにもぴったりの本をえらんでくれるくろねこがあなたを待っています。

『読書する人だけがたどり着ける場所』



「ネットで情報をとるから本はいらない」という風潮が広がっていますが、それは本当でしょうか？ネットの時代にあらためて問いたい「読書の効能」と「本の読み方」を紹介します。

『青森の八戸にある小さな本屋さんの猫がかわいいポップの本』



青森県八戸市にある「木村書店」は、手描きのポップをつけて本を売る本屋さん。ポップの描き方や木村書店のひみつももりだくさん。八戸市の紹介コラムもあります。

今年の標語は、(天野耕平さん作)
『この一冊にありがとう』
読書で心が震える体験は、何物にも代え難い奇跡のようなものだと思います。そして、自分の未来にはそんな奇跡がまだまだたくさん待っているのだという妙な確信もあります。本に関わっているすべての人に感謝を伝えたいです。(作者のことば)

知っ得コーナー

読書週間について



終戦まもない1947(昭和22)年、まだ戦火の傷痕が至るところに残っている中で「読書の力によって平和な文化国家を作ろう」という決意のもと、11月17日から第1回『読書週間』が開催されました。その時の反響はすばらしく、翌年の第2回からは期間も10月27日～11月9日(文化の日を中心にした2週間)と定められ、この運動は全国に広がっていきました。

『読書週間』は日本の国民的行事として定着し、日本を世界有数の「本を読む国民の国」にしました。最近では電子メディアの発達によって、世界の情報伝達の流れは大きく変容しようとしています。しかし、その使い手が人間である限り、その本体の人間性を育て形作るために、「本」が重要な役割を果たすことに変わりはありません。

(公益社団法人読書推進協議会 HP 参照)



お知らせ

秋がだんだん深まってきましたね。10/3から秋休みに向けて長期貸出(1人8冊/3週間)をします。「読書の秋」を楽しみましょう。今月の季節のコーナーは、『おいしい秋、見つけた』と題して、食べもの特集です。「食欲の秋」のほうが強めな吉田司書ですが、コーナーの本を手にとって少しでも本に触れる時間を作ってくれれば嬉しいです。



★読書週間の企画は、図書委員と先生方のおすすめ本を紹介する予定です。お楽しみに！